

指導用資料1

荒代海岸案内図



1 マテガイの観察

◎ 外敵から身を守るため、自力で穴にもぐり身を隠す。

<手順>

- ① だ円形の穴をさがし、塩をひとつまみ入れる。
- ② マテガイが出てきたら、やさしく引き抜く。
- ③ マテガイを穴の近くに横たえ、観察する。

<結果>

殻の前端からくさび型のあしを出し、殻を地面に対して垂直にしながらもぐっていく。



2 ヒトデの観察

◎ 体が裏返ってしまっても、触手を上手に使いもともどり、外敵から身を守る。

<手順>

- ① バットに海水を入れ、ヒトデを裏返して置く。
- ② 観察をする。

<結果>

触手を上手に使い、体をそらして、もとのように(表)もどる。

- 砂の上、石の上、海水なし等、条件を変えて比較観察してもよい。
- バフンウニを使っても同じような観察が可能



「海辺の生物観察」研修

海辺の生物観察研修



国立江田島青少年交流の家

「海辺の生物観察」研修

◆ 概要

本所施設から徒歩 15～20 分の荒代海岸で、海辺の生物の観察や採集ができる。

◆ ねらい

- 海辺の生物観察を通して、形態や生態を知る。
- 生き物の種類や数から、海辺の環境状態を把握する。

◆ 指導者、人数など

| | |
|------|-------------------------------------|
| 対象 | 小学4年生以上 (保護者や引率者と組む場合は4年生未満でも可能) |
| 指導 | 各団体 |
| 人数 | 最大100人まで |
| 実施時間 | 干潮時潮位 60cm 未満の日 干潮時刻の前後 1 時間 |
| 実施場所 | 荒代海岸 |
| 実施時期 | 5月～11月 |



◆ 準備物

| 個人 | 交流の家 *必要に応じて | 交流の家 |
|---------------|---------------|--|
| 濡れてもよい靴 (長靴可) | ハンドマイク | 海辺の危険生物のシート (班に1つ) |
| 軍手 | 救急箱 | |
| タオル | ホイッスル | 海辺の生物シートー江田島・能美 島付近でみられる主な貝類 (海辺 の生物) (班に1つ) |
| 帽子 | 指導用資料 1, 2, 3 | |
| 飲み物 | 箱めがね (班に1つ) | バット (班に1つ) |
| バケツ | 食塩 | |

◆ 展開

| | 団体指導者の動き | 職員の動き |
|------|--|-----------|
| 実施前 | ①交流の家 (事務室) から必要物品を受け取る。 ②つどいの広場に班毎に整列させる。 ③健康観察を行う。 ④人数の確認をする。 ⑤班毎に2列縦隊で荒代海岸に移動する。 ⑥荒代海岸のトランクから観察に必要な箱めがね等の物品を取り出す。 | 準備物を貸し出す。 |
| 事前指導 | ①浜辺に班毎に整列させる。 ②健康観察をさせる。 ③人数の確認後、交流の家に携帯電話で報告する。 ④目的及び活動の留意点の説明をする。 ⑤注意事項を説明する。 ※ 下記の【注意事項】を必ず伝える。 ⑥採集時間の設定及び活動範囲、観察に適した場所について説明をする。 ⑦箱めがね、海辺の生物シート、海辺の危険生物のシートを班に配布する。 ⑧危険生物の説明をする。 | なし |

「海辺の生物観察」研修

| | | |
|------|--|-----------------|
| 観察活動 | ①班毎に、観察、採集を始めさせる。 ②定期的に物品がそろっているか確認する。 不足している場合は班で探させる。 ③採集終了させる。 ④集合・整列・人数確認、健康観察を行う。 ⑤箱めがねを回収、バットを配る。 ⑥班毎に、採集した生物をバットに入れ観察する。 ⑦まとめをする | |
| 活動後 | ①採集した生物を海に返す。 ②貸し出された物品を回収し、トランクに収める。 ③トイレの掃除をする。 ④持参した物品を必ず持ち帰る。 | |
| 移動 | ①班毎に整列させる。 ②健康観察を行う。 ③人数を確認し、交流の家に携帯電話で報告する。 ④2列縦隊で青少年交流の家へ移動する。 | |
| 帰着 | ①人数の確認をする。 ②健康観察を行う。 ③更衣等の諸連絡をし、解散する。 ④貸し出し物品を交流の家（事務室）に返却し、研修が終わったことを報告する。 | 貸し出し物品の数量を確認する。 |

【注意事項】

- ・班員とともに行動する。
- ・指導者の指示に従い、悪ふざけや勝手な行動は絶対しない。
- ・体調が悪くなったら、早めに活動をやめ、指導者に連絡をする。
- ・体調不良者は海辺の観察をしない。
- ・事故を目撃したら直ちに大声で叫ぶ。
- ・決められた観察区域から出たり、ひざ上まで入水したりしない。
- ・岩場には付着した貝が多くケガをしやすいので十分注意をする。
- ・危険生物を見つけたら、さわらないで指導者を呼ぶ。
- ・石をひっくりかえして観察する場合、観察後には石をもとのように戻す。
- ・必要以上に生物を採集しない。
- ・はだしになって活動をしない。
- ・トイレに行く場合は必ず指導者に伝えてから行く。
- ・見学者は勝手な行動をしない。

◆ 連絡先

| | 一般電話番号 | 緊急通報用電話番号 |
|-------------|----------------------------------|-----------|
| 江田島消防署（救急係） | TEL 0823-40-0358 | 119 |
| 江田島警察署 | TEL 0823-42-0110 | 110 |
| 第六管区海上保安本部 | TEL 082-251-5111 | 118 |
| 江田島青少年交流の家 | TEL 0823-42-0660 0823-42-0661 | |